

2024 国際ウエルディングショーに出展

当社として約30年ぶりに、2024年4月24日(水)～27日(土)にインテックス大阪にて開催された『2024 国際ウエルディングショー』に出展しました。国際ウエルディングショーは、国内最大の溶接・接合、切断技術専門の展示会です。

当社は、国内外の熱間圧延等のロール類で多く採用されている、長寿命化を達成する複合鋳造技術(CPC法)と、薄肉厚・高密着・高緻密・低希釈率を高度に可能とする新しい表面処理技術(Fプロセス)を、コーティングゾーンにて展示説明を行いました。

当社ブースの来場者の多くは、本展のホームページで掲載されたガイドブックを事前に見て、興味を持たれた方々が多く、CPC法を知らない方もいらしたが、CPC法によるロールの再生には驚かれた方も多くいらっしゃいました。一方、パネル内容で興味を持って頂いたが、サンプル展示数が少なかったため、「サンプルがないとわからない」との意見を多数頂戴しました。今後は、CPC法によるロールをはじめ、硬化肉盛ロールやFプロセス、業界に先駆けた接着剤不要の光触媒コーティング、光除菌を施した商品等、数多く展示していき、来場者には「フジコー」により一層興味を持って頂くと共に、企業様の事業発展に微力ながら貢献できるよう努めて参ります。

・ 出展内容 ・



CPC法 CPC (Continuous Pouring process for Casting)

CPC法の概要

CPC法は、熱間圧延用ロールの再生に不可欠な技術であり、高品質な再生ロールを安定供給するための重要な技術です。従来のロール再生方法と比較して、CPC法は再生ロールの品質を大幅に向上させ、再生サイクルを短縮し、コスト削減を実現しています。

CPC法の利点

- 再生ロールの品質向上
- 再生サイクルの短縮
- コスト削減
- 環境負荷の低減

CPC法によるロールの再生

再生ロールの品質向上を実現するための重要な技術であり、高品質な再生ロールを安定供給するための重要な技術です。

ロール再生の特長

- 再生ロールの品質向上
- 再生サイクルの短縮
- コスト削減
- 環境負荷の低減

実績

- 2013年 株式会社フジコー 再生ロール再生技術開発事業 役員 役員
- 2014年 株式会社フジコー 再生ロール再生技術開発事業 役員 役員
- 2015年 株式会社フジコー 再生ロール再生技術開発事業 役員 役員

大野 京一郎 (事業化推進室)